



大井町議会だより

2023.2.1 No.214

ひ た よ う た ん

第4回定例会	2
第3回臨時会	4
第4回臨時会	5
一般質問 ここが聞きたい（7人）	6
委員会活動報告	10
議員研修報告	11
町のこの人あの人	12

学童野球 大井フレンダース監督！
青少年育成に熱意を注ぐ

市場地区

かしわぼろ としお
柏原 敏夫 さん



“小学生消防団員” 元気いっぱい行進

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp

URL <https://www.town.oi.kanagawa.jp/site/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

町民の皆さまへ

大井町議会では、令和4年第4回定例会の会期中に議員に新型コロナウイルスの感染が確認され、議会運営に影響を及ぼすこととなりました。町民の皆さまにご心配とご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。

令和4年第4回定例会は、11月22日から29日までの会期日程で開会し、町長から提出された議案13件と請願1件について審議する予定でした。経過としましては、24日に議案7件を採決し、25日は請願1件について企画経済常任委員会で審査を行い、定例会最終日として29日が残されていました。

しかしながら、25日以降、新型コロナウイルスの感染又は濃厚接触が確認され、29日の会議は定足数を満たすことができず、同日午後5時をもって流会となりました。結果、残された議案6件と請願1件は審議未了のため廃案となりましたが、12月5日に臨時会を開議し議案6件については議決いたしました。

議員一同、今後も引き続き、新型コロナウイルスの感染防止に努め、町政発展のため尽力する所存でありますので、ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

個人情報保護に関する条例を可決

第4回定例会

第4回定例会は、11月22日から29日までの

会期日程で開会し、町長から提出された議案13件と請願1件について審議する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により一般質問と議案7件の採決を行い、自然閉会となりました。なお、一般質問には7人の議員が登壇し、町の考えを質しました。

条例

大井町議会の個人情報保護に関する条例について（賛成多数）

＊改正個人情報保護法の施行後においても、議会における個人情報の適切な取扱いが引き続き確保されるよう、対応を図る必要があることから制定するもの。

大井町個人情報保護に関する法律施行条例について（賛成多数）

＊改正個人情報保護法の施行に伴い、個人情報の取扱いに必要な事項を定めるもの。

行政機関等匿名加工情報について記載しない理由は、

当分の間は、都道府県、政令指定都市に適用されており、本町においては近隣市町の動向を注視して判断する。

大井町情報公開・個人情報保護審査会条例について（賛成全員）

＊改正個人情報保護法の施行に伴い、審査請求等を審議する機関を新たに設置するため制定するもの。

どのような方が委員になっているのか。

弁護士2名、学識経験者2名、行政経験者1名、計5名である。

大井町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例について（賛成全員）

＊地方公務員法の一部改正により、職員の定年延長や管理監督職務上限年齢制、定年前再任用短時間勤務制を導入するなどの所要の改正を行うもの。

定年延長により新任の採用人数に影響はあるのか。

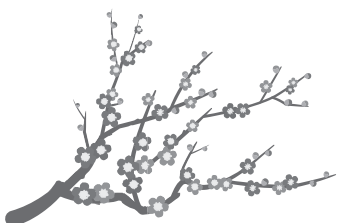
短時間任用職員の場合は定数に含まれない。この点もふまえて、職員の新規採用は計画的に進める。

請願

日本政府に核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書

を提出することについての請願書（審議未了）

この請願は、核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める大井町みんなの会代表 風間秀泰氏他855名の連名で提出されたもので、企画経済常任委員会に付託された。25日の委員会審査にあたっては、請願者2名及び紹介議員2名からの説明を受け、慎重審査を行った。しかしながら、最終日が流会となったため本会議での採決は行えず、審議未了となった。今後適切な対応を図っていく。



大井町議会の個人情報の保護に関する条例について

討論

「第三者提供を可能にする匿名加工情報の条文に反対」

反対討論 大石 舞

今条例が、町民の個人情報を守れるものなのか疑問が残るため、反対する。条例第16条の「匿名加工情報」とは、行政などが持っている個人情報等特殊技術で匿名加工し、事業者等へ提供できるようにするものである。本人への同意等が必要なく、目的外利用や第三者提供も認められている。地方行政や議会の役割は、住民の権利保障であり、匿名加工情報の提供はそれとは相反する。また全国市議会議長会の資料では、議会が行政のように第三者に匿名加工情報を提供することは想定されないと述べている。提供を想定しないのであれば、そのような条文にすべきである。事前に質問や意見交換を行い、修正案も提出したが、折り合うことができなかったため、条例に反対する。

「議会における個人情報の適切な取扱いの確保」

賛成討論 山崎真弘

私は、この条例案について賛成の立場から討論を行う。本条例案は、議会における個人情報の適切な取扱いのが引き続き確保されるように対応を図る必要があることから、提案されたものである。町民の立場からは、自分の個人情報が果たして適切に用いられているのかといった不安もあり、議会としては、その不安や懸念を払拭するための不断の努力を重ねていく必要がある。本条例案は、このような今日の課題に対し、議会としての確に対応できる提案であり、町民皆様の保護のために不可欠な基盤法制であると考え。以上のことから、大井町議会の個人情報の保護に関する条例案に対する賛成討論とする。

大井町個人情報の保護に関する法律施行条例について

討論

「情報漏洩の可能性を残す条例制定に反対」

反対討論 大石 舞

国の個人情報保護法改定により、自治体ごとの規定が共通ルール化され、町も条例が廃止・制定される。従来の条例には目的として「個人の尊厳を保つ上で個人情報の保護が重要である」等、重要な姿勢が示されたが、国の個人情報保護法は「個人情報の適正かつ効果的な活用」に重点が置かれ、町の施行条例もそれに沿った内容となっている。この共通ルール化の目的は、個人情報を匿名加工し、公開されたオープンデータにすることだ。行政が持つ個人情報を民間事業者に提供でき、目的外利用や第三者への提供も認められているので情報漏洩を懸念する。国の法改定が最大の問題だが、自治体でも情報提供の可能性があるため、個人情報を守る観点から反対の意を示す。

「個人情報の適切かつ厳正な取扱いが確保されることに期待」

賛成討論 黒石陣太郎

私は、大井町個人情報の保護に関する法律施行条例案について賛成の立場から討論を行う。令和3年5月に改正された個人情報保護法は、デジタル社会の進展を見据えて、個人情報の取扱いなどに関する共通ルールを定める一方、地方自治体には、法律で許容される範囲内において一定の裁量が認められたが、本条例においては、これまでの町の仕組み等を存続させることを基本とした規定がなされている。今後とも、個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護するという改正法の趣旨に基づき、本町における個人情報の適切かつ厳正な取扱いが、引き続き確保されることを期待し、賛成討論とする。

第3回臨時会

令和4年12月5日、臨時会が招集され、第4回定例会で審議未了となった6件の議案を審議しました。

補正予算

●一般会計（第4号）
（賛成全員）

*歳入については、新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金や各種補助金等の交付決定額などを計上し、歳出においては、職員の給与条例の改定に伴う給与費等の増減額を、また、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業に係る経費、民間保育所への補助金等を計上。

問 湘光中学校体育館

の吊下式バスケットゴールの定期点検等の状況は。

答 年2回の点検を行っているが目視での点検である。



吊下式バスケットゴール

問 目視での点検ではなく適切な点検にする考えは。

答 今後検討していく。

問 工期は。

答 年度内には終了する予定。

問 就学援助対象者への児童生徒扶助費は、いつ頃振り込みできる

のか。
答 議決後、早急に進める。

問 個人番号制度関係事業費における会計年度任用職員の増員の理由は。

答 制度説明や手続対応のためである。

問 大井町のマイナンバーカード交付率は。
答 11月20日現在で51.8%である。

問 社会福祉協議会物価高騰対策支援金の積算根拠は。

答 燃料費や光熱水費で、他の施設を参考に積算した。

問 三世代同居等移住定住促進補助金の今年度の実績と見込みは。
答 合計で56件、令和4年度末で106件の見込み。

問 電力・ガス・食料

品等価格高騰緊急支援給付金事業は、住民税非課税世帯のみの給付か。

答 家計急変世帯も含まれる。

問 予定件数は。
答 1400世帯である。

問 民間保育所物価高騰対策支援金の内容は。
答 電気料と給食の食材費高騰への支援である。

問 水道基本料金減免事業補助金の対象件数は。
答 7900件を想定している。



マイナンバーカードの交付窓口

●国民健康保険（第2号）
（賛成全員）

*職員の給与条例の改定に伴い、歳入歳出とともに、その所要額を計上し、歳出は、事業実績に基づき、保健事業費等について増額計上。

問 医療費増額の要因は。
答 新型コロナウイルス感染症に対する受診控え等が緩和されたことが考えられる。

問 国保税の増額は。
答 基金を活用するなどにより、現時点では考えていない。

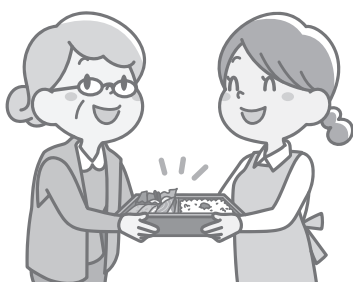
●介護保険（第2号）
（賛成全員）

*歳入は、システム改修に伴う国庫補助金や職員給与費における一般会計繰入金を増額計上し、歳出は、職員給与費や事業費について

増額計上。

問 一人暮らし高齢者等配食サービスの現在の登録人数は。
答 12名である。

問 増額の理由は。
答 登録人数に変更はないが食数が増えたため。



第3回臨時会・第4回臨時会

人事

大井町農業委員会委員の任命について同意を求めること

(賛成全員)

*農業委員に欠員が生じたため任命するもの。

小宮 健三(中屋敷)

第4回臨時会

小田町長が 所信表明

令和4年12月23日、臨時会が招集され、1件の選挙を行いました。また、小田町長は2期目の町政を担うにあたり、その所信を表明しました。

選挙

南足柄市外四ヶ市町組合議員の選出

*令和5年2月6日をもって任期満了となるため後任を選出。

石井 道展 氏
(再任 西大井)

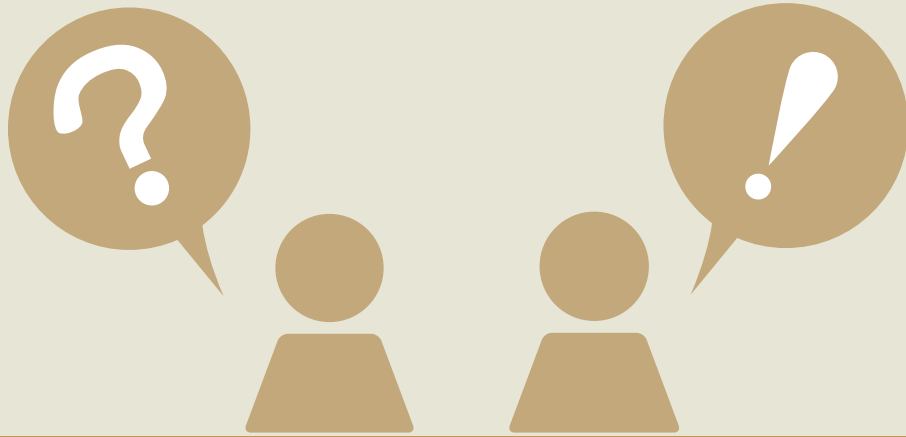


審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
田村俊二議長は、採決に加わりません。

定例会・臨時会の別	議案番号	議員名(議席順)と審議結果 議 案 名	大石 舞	黒岩 陣太郎	重田 有紀	和田 紀昭	山崎 真弘	岡田 幸二	鈴木 磯美	田中 正彦	牧野 一仁	清水 亜樹	伊藤 奈穂子	清水 豊司	審議結果
第4回定例会	44	大井町議会の個人情報の保護に関する条例について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	45	大井町個人情報の保護に関する法律施行条例について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	46	大井町情報公開・個人情報保護審査会条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	47	大井町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	48	大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	49	大井町税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	50	大井町現業職員の給与の種類及び基準に関する条例を廃止する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	51	専決処分の承認について (令和4年度大井町一般会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第3回臨時会	52	令和4年度大井町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	53	令和4年度大井町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	54	令和4年度大井町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	55	令和4年度大井町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	56	令和4年度大井町公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	57	大井町農業委員会委員の任命について同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

ここが聞きたい 一般質問



災害時の対応は

答 指定避難所を相和小学校に統合したことにより備蓄のあり方が課題

鈴木 磯美 議員



問 災害備蓄品や資機材の配置状況は。
町長 乳幼児の液体ミルクの備蓄を開始、備蓄食料は温度変化が少ない防災備蓄倉庫で一括管理。
問 いこいの村あしがらの施設を継承する事業者との応援協定の締結状況は。

町長 臨時避難所として協定の締結に向け準備を進める。

【生産組合長の職務について】

問 活動に関する取り決め等の進捗状況は。

町長 生産組合長会議で議論し、今年度中に取り決めを定める。

問 生産組合長の兼職制限は。

町長 特段、制限はなく、各自治会や生産組合の判断による。

問 農業委員・農地利用最適化推進委員との関係は。

町長 相互に連携した中で農業施策を推進する仕組みを構築する必要がある。

問 かながわ西湘農業協同組合との今後の連携は。

町長 共通する課題があり連携を図る必要がある。

【湘光中学校ナイター照明の改修について】
問 LED化を含め、現在の進捗状況は。

教育長 LEDに替わる手段も引き続き検討し、財源確保の総合的な見地から判断する。

問 施設利用者の駐車場対策は。

教育長 基本的には中学校の駐車場に対応し、同時に体育館等利用がある場合は総合体育館等の駐車場に対応する。



どうなる!?!
旧いこいの村あしがらにある防災備蓄倉庫

遊休農地への勧告は

答 現在大井町では勧告を行った
遊休農地はない

和田 紀昭 議員



問 平成28年の地方税法の改正に伴った遊休農地の勧告は。
町長 本町では勧告を行った遊休農地はない。
問 夢おいファーマー制度の現状は。
課長 11名に申請いただき11月末までに6名が認定されている。

問 企業誘致は行っているか。
課長 一般企業、民間事業者も誘致に向けて取り組んでいる。
【指定管理者制度の取り組みと展望について】
問 経費削減はどの程度行われているか。
課長 山田総合グラウンドでは前年と比べて約120万円指定管理料が削減されている。
問 農業体験施設四季の里では子ども達の体験学習はどんなものが行われているか。
課長 ブルーベリー摘みとアイス作り、ラベンダー摘み、青みかんを使ったポン酢づくり、そば打ち体験、キウイの収穫とジャム作りなどが実施された事業。
問 大井中央公園の指定管理者制度は検討しているか。
課長 現時点では検討していない。



指定管理者により運営されるテニスコート

【ひょうたん祭の総評について】
問 予算の問題があったと思うが流し踊りの照明や機材敷席が無い等改善の余地はあったようだが。
課長 開催が延期になったことや新しいことが多い状況だったため予想以上に予算を要した。今後実行委員会と協議し対応していく。

制服変更についての情報を 周知する方法は

答 必要に応じ周知すべきと
学校に意見していく

重田 有紀 議員



問 低年齢児の性的マイノリティへの配慮、指導は。
教育長 性差の固定観念、多様性という視点を意識した教育活動を行っている。
問 HSC（ハイリーセンシティブチャイルド、人一倍敏感な子ども）への配慮として、制服着用の選択肢を設けることが、以前の答弁で示された「効果的」な配慮だと思いが

検討されたか。
課長 制服は基本的に着用するものだが、事情があれば学校との話し合いで決定すべき。
問 個別最適な支援が特別扱いと見なされ、生徒間での理解が進んでいないようだが。
教育長 保護者、生徒本人、カウンセラーと連携し対応していく。
問 大多数の方の不安要素である新しい制服の価格について、慎重に検討すべき。現行や全国平均より安価にする等の検討は。
課長 できるだけ負担をかけないという前提で検討されている。
問 例年、新入生への対応として、制服を購入するかどうかを含め、購入先や費用についての情報提供が遅いようだが。
課長 校長に申し伝える。



性の多様性を尊重する、ジェンダーレス制服

るか。
課長 まだ決まっていないが意見があったと承知はする。
問 情報の公表を広報やホームページの活用を学校に助言しては。
課長 必要があれば時期を見て支援する。

コロナ感染症の後遺症への対応は

答 受診につながるよう、
周知を行う

大石 舞 議員



問 大井町には後遺症
対応の病院が一つある
が、足柄上地域では他
に一つもない。広域連
携や足柄上医師会等
のご協力を得ながら取
組めることはないのか。
課長 国等の研究が進
めば整備状況も変わる
と思う。
問 後遺症の相談窓口

は、町ホームページ等
で周知を行うとのこと
だが、中身は。
課長 症状の説明や、
県または国と連携する
形で周知したい。
問 LINE公式アカ
ウントの相談窓口の情
報提供も必要では。
課長 県の相談窓口と
いうことで、周知して
いきたい。
問 国民健康保険の傷
病手当金対象者に、後
遺症や事業主を含めて
はどうか。
課長 国が示す統一し
た基準のもと、運用さ
れるものと考えてる。
問 児童コミュニティ
クラブにおける、コロ
ナ感染に関わる減免措
置は。
町長 他市町でも事例
があるため、今後柔軟
に対応していきたい。
問 ホームページで例
外的な減免措置につい
ても記述したらどうか。
課長 利用者に十分周
知していきたい。



倦怠感など、後遺症の症状はさまざま
(県ホームページより)

【町立幼稚園・学校の
今後のあり方について】
問 今後、相和地区の
園や学校について方針
が出されると思う。学
校のあり方は、地域や
子育てのあり方に深く
関わる。開かれた議論
と周知をお願いしたい。
課長 教育委員会では
非公開案件としており
お答えは難しい。今後
地域に対して説明会を
開き、アンケートをと
る。

ペット同行避難のガイドラインの
作成は

答 年度内には作成する

黒岩 陣太郎 議員



問 ペット同行避難所
の受け入れ体制は。
町長 現在、町ではペ
ット同行避難ガイドラ
インの整備を進めてい
る。今後はこのガイド
ラインに沿った職員行
動マニュアルも整備し
受入れ業務を円滑に執
り行えるように努める。

問 受入れ避難所の指
定は。
町長 特定の避難所を
指定することせず、
全ての避難所での受け
入れを考えている。そ
の他に、地域防災計画
の改定に伴う、役場を
中心とした防災拠点構
想においては、総合体
育館の駐車場を車中泊
用スペースに、中央公
園芝生地帯をキャンブ
村としての活用を考え
ているので、その中で
犬種などの種別によつ
た避難も考えている。
問 同行避難のガイド
ラインの完成予定は。
課長 生活環境課を中
心に整備を行い年度内
に完成させたいと思っ
ている。



ペット同行避難イメージ

【シティプロモーション
の推進について】
問 新たな情報発信ツ
ールの取入れは。
町長 来年度よりツイ
ッターのアカウントも
取得し活用していく予
定である。
問 イベント等の取材
は町側からもアプロ
チが必要だと思うが考
えは。
課長 業務との兼ね合
いのなかで最低限でき
ることから、しつかり
対応し観光PRにつな
げていきたいと考えて
いる。

地域猫活動の推進は

答 推進していく必要性を認識

伊藤 奈穂子 議員



問 飼い主のいない猫が増えることを防ぐため不妊去勢手術費用を補助する考えは。

町長 県が実施している事業があり創設する考えはない。

問 どうぶつ基金の行政枠を登録する考えは。

課長 県の事業では足

問 TNR活動するボランティア団体等との連携協力は。

課長 今のところボランティア団体からの相談はない。今後、相談等があれば支援していきたい。その後、しっかり連携した中で対応していく。

問 地域猫の活動を自治会長会議等で紹介する考えは。

課長 地域猫活動の重要性は認識した。まずは、広報等で広く町民に周知していく。

問 動物愛護週間や環境展を活用し、イベントを開催する考えは。

課長 町単独では厳しいが、動物愛護センタ

問 1の事業等を活用した中で考えていきたい。

【物価高騰対策】

問 事業者支援として電気代を補助する考えは。

町長 国策での支援が検討されており動向を注視する。

問 物価上昇が来年度以降の給食費へ及ぼす影響と対応は。

町長 保護者の負担が増えないように必要に応じて財政的な措置を講じていきたい。

問 今回だけに限らず継続的に補助する考えは。

課長 いかに継続的に投入していけるかが一番の課題であり、しっかりと検証していく。

神奈川県飼い主のいない猫対策ガイドライン
～ 人と猫のよりよい共生を目指して ～



平成30年1月
神奈川県

神奈川県のホーム
ページより

障害者差別解消法

これまでの取組みは

答 今後、対応要領を職員研修の教材として活用していく

清水 亜樹 議員



問 障害者差別解消法が平成28年に施行されたが、これまでの本町の取組み状況は。

町長 障がい理由とする差別の解消の推進に関する対応要領を策定しており、策定時に職員への周知やホームページに掲載したが、

その後は要領を活用していない。今後は職員研修の教材として活用を図っていく。

問 令和4年5月に障害者情報アクセシビリティ法が施行されたが、同法に対する考えと課題は。

町長 この法律は、障がい者による情報の取得及び利用並びに意思疎通にかかる施策に対し、基本理念、基本事項を定めたもので、国や県と連携をとりながら具体的な施策を講じていく。また令和5年度に改定する障がい者計画に、反映させたい。課題の整理については、

庁内検討会の開催、生活用具給付事業の見直しなどが必要となる。

問 同法や計画に当事者等の意見を取り入れることが重要。どのような形で当事者の声を入れていくのか。

課長 「かざみどり」や「身体障害者福祉協会」などの団体の方とヒアリングをし、計画を策定していきたい。

問 令和3年に提出した障がい者の就労支援に関する政策提言に対して内容を検討されたか。

町長 特段検討の会議はしていない。



障害者週間のポスター

各常任委員会等の活動方針を決定

企画経済常任委員会

町民とともに取り組む低炭素・循環型社会の実現について

令和3年第4回定例会において議会は気候非常事態宣言に関して決議した。このことを受け令和4年第1回定例会において議会・町と共同で「大井町気候非常事態宣言」をした。気候変動の危機的状況を町民、事業者、行政などあらゆる主体が広く情報を共有し、協働して気候変動対策に取り組む必要があることから、一年目の目標とした。

教育福祉常任委員会

高齢者の健康増進・健康長寿の実現について

企画経済・教育福祉・広報広聴の3常任委員会及び議会運営委員会、令和4年第3回定例会での委員編成後、委員会を開催し、活動方針を決定した。なお、企画経済・教育福祉では、テーマを一年単位で設定することとした。

今後、経験したことのない超高齢社会を迎えることになる。こうした中、単に長寿であるだけでなく「いかに健康で過ごすことができる期間を長く保つか」健康寿命の延伸とそれによる健康長寿社会の実現が最重要課題である。本町において、高齢者の健康増進・健康長寿の実現についてより良いあり方や対策を調査・研究していく。

広報広聴常任委員会

【広報分科会】

1. 議会だよりの分りやすい紙面づくりについて

町民の皆様は、議会情報を分りやすく伝え、議会を身近に感じてもらうために、手に取ってもらえる表紙や目にとまる見出し等、町民

の皆さまの目線に立ち分りやすい紙面づくりに取り組んでいく。また新たな情報欄の検討をしていく。

2. ホームページの充実について

前期においては、情報のバリアフリー化として、録音ボランティア「あやの会」の協力のもと、音声版議会だよりをホームページから聞くことができるよう掲載してきたが、更に町民の皆さまに必要な情報の掲載を検討し、一層の充実に取り組んでいく。

3. デジタルを活用した情報発信について

議会を身近に感じてもらえるよう、SNSを活用した情報発信や、来庁せずに議会傍聴が可能となる議会映像配

信の導入に向けた調査研究に取り組んでいく。

【広聴分科会】

新しい議会広聴のあり方について

コロナ禍により、昨年3年ぶりに議会報告・意見交換会を実施したが、更に町民の皆さまからの声を伺う新たな場として、議場体験ツアーを予定した。しかし直前で、感染拡大により中止となったため、次期開催に向けた実施時期や内容等を検討し充実を図っていく。

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会を円滑にかつ効率的に運営するため、定例会・臨時会の会期日程等、議会の運営に関する事項、会議規則、

委員会に関する事項、議長の諮問に関する事項を行うと同時に議会改革に関する事項の調査研究に取り組んでいく。

10月31日議長より議会改革に関する調査・検討について、2項目の諮問があった。

1. 議員定数及び議員報酬のあり方について

2. 議会基本条例の見直しについて

まずは1項目目の「議員定数及び議員報酬のあり方について」を優先し、令和5年夏を目途に議長に答申していく。

2項目目の「議会基本条例の見直しについて」は令和6年9月改正に向け調査研究していく。



令和4年度 自治功労者表彰式・ 町村議会議員研修会報告

令和4年11月10日愛川町文化会館で行われた令和4年度自治功労者表彰式では、11年間町村議会議員の職にある者として、8名の議員が表彰された。表彰式の終了後は、町村議会議員研修会が開催された。



演題 「歴史を学び、未来を読む」

講師 歴史家 加来 耕三氏

研修会では、講師が歴史家の加来耕三氏、演題は「歴史を学び、未来を読む」。

実践してもらいたい

こととして示されたのは、歴史を仕事や日常生活に活用すること。

そして、歴史の世界へお連れしたいとも話され、そのためには、立ち止まって物を考えることが大切であると示された。立ち止まり立ち止まり判断できる人が、歴史を活用できる

人かもしれないという言葉には、想像力を働かせて行う議員、議会活動にも通じるものがあると感じた。

歴史学の三つのこととして示された「何事も疑ってかかること」

「飛躍し過ぎて物事を見ないこと」「数字を重視する物の考え方を徹底すること」これらの言葉は、特に印象深かった。

最後に加来氏は「来年は大変な年になる、

お詫びと訂正

議会だより第213号（P 4）に掲載しました次の記事におきまして、誤りがありました。ご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

令和3年度 各会計の決算状況

一般会計 歳入

（誤）63億3771

（正）68億3771

一般会計 歳出

（誤）63億4611

（正）63億4641

神奈川県町村議会議長会から感謝状を贈呈

清水豊司前議長に対して、県町村議会議長会から役員退任に伴う感謝状が贈られ、議会全員協議会において伝達式が行われました。田村議長から、清水前議長の御功労に対する感謝の意が述べられました。



大井町議会のホームページでは、一般質問の内容や委員会での活動等がご覧いただけます。

大井町議会

検索

● 町のこの人あの人 ●

学童野球

大井フレンダース監督！

青少年育成に熱意を注ぐ



市場地区
かしわばら
柏原 敏夫 さん

大井町で唯一の軟式野球チーム「大井フレンダース」で現在監督を務める柏原敏夫さんを紹介します。

● 柏原さんは、生まれも育ちも地元大井町市場、チャキチャキの大井っ子です。先祖から引き継いだ「江戸屋」という屋号を持つ名家でもあります。お子さんの入部をきっかけに14年間のコーチを経て監督となり8年経ちます。

● 大井フレンダースをご存じの方は、たくさんいらっしゃると思

います。創部は昭和50年頃、役員職員の方もOBが多いことで有名です。また、親子でフレンダースに所属している方もいて、まさに大井町とともに歩んできた歴史あるスポーツ団体です。

● 運営方法も至ってシンプルで、スポーツと子育てに熱心な保護者によるボランティアの集まりです。野球を通して親子で成長する、他人の子を教えることで自分も成長すること、そして何よりも監督・コーチ陣との仲間作りにより、お互い付き合

いの広さを実感し、交流を深める。その中心となるのはやはり監督で、柏原さんは4代目となります。

● 自営業のかたわら、週末は小学校校庭での練習や所属する足柄上郡学童部や近隣の大会に参加し、まさに野球中心の生活となり、奥さんに支えられ、孫の成長を楽しみに日々を送っているとのこと

● そんな柏原さんの悩み事は、監督の後継者不足もさることながら、スポーツ人口が減りチーム編成が厳しいということ。他市町でも同じことが言え、かつて上郡で8チームの時代もありましたが、現在は5チームとなりました。現在のフレンダースは、松田との合同チームでの大会参加となっています。

● 時代の流れで、主役である子ども達が少なくなっているなか、自分の孫の世代までは何とか続けていきたいとのこと。

● 柏原さん曰く、教え子が大きくなり、街中で会ったときに「監督！お久しぶりです。〇〇です。」と声をかけられたとき、「やって良かった！と思う瞬間です。」



松田自動車学校杯3位
本人右端

町政を知る良い機会です。議会傍聴にお越しください。

第1回定例会開催 3月2日(木) 午前9時

問合せ先：議会事務局 ☎85-5000 FAX 83-3936

編集後記

第4回定例会では、令和3年5月公布の「個人情報保護法」改正により、国会や裁判所などと同様、その独立性を確保する考えから、議会として新規条例を制定しました。議会の役割の重要性を再認識するとともに、今後は条例に沿った対応をしてまいります。また、コロナ対策は徹底していたものの、多数の議員がコロナに罹患し、最終日の議会は流会となりました。深くお詫び申し上げます。なお、12月5日に臨時議会を開催し、補正予算等が成立しました。

岡田 幸二

広報広聴常任委員会

(広報分科会)

委員長 清水 亜樹

副委員長 大石 舞

委員 伊藤奈穂子

委員 岡田 幸二

委員 山崎 真弘

委員 和田 紀昭

委員 黒岩陣太郎